

31H 田中 はな 33H 谷渡 連 33H 濱田 恵有
 35H 下谷内 佑豪 35H 安田 百花 36H 中橋 真幸

■課題
 能登を観光しやすい場所にするには？

■解決策
 無料Wifiの設置

■現状（課題の背景）

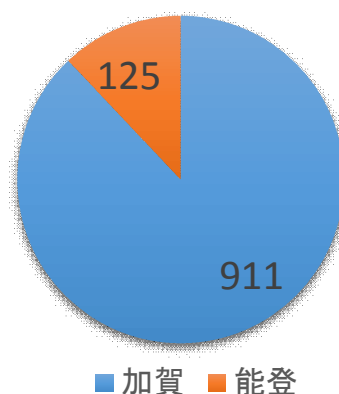
1. 無料WiFiが求められる理由

現在、世界中で観光客が増加しており、訪日外国人の数は増加している。観光庁のアンケートによると、旅行中に困ったことに「無料公衆無線LAN環境」が最も多かった。外国人観光客は、通信料金などの理由から情報の収集に無料WiFiを使う。

2. 石川県のWiFi環境の整備の実態

石川県のドコモの公衆無線LAN整備数は1036か所となっている。うち、能登は125か所となっている。

石川県の公衆無線LAN(箇所)



3. 無料WiFiを設置することによるメリット

- 情報検索が容易にできるようになり、観光客の満足度がアップする。→リピーター客
- 観光客がSNSによって、情報を発信しやすい環境になる。

観光面以外にも…

- 耐災害性の高いWiFiを設置することで、地域の安心安全な環境を構築することができる。
- 住民サービスの向上や行政の効率化につながる。

一方で、コストもある。そこで、地方公共団体の公衆無線LAN整備による波及効果について、福岡市における取り組みである「Fukuoka City Wi-Fi」の事例をベースに、費用と便益の分析を実施し、調査した。

4. WiFi設置場所の提案

- 電車、バスなど公共交通機関
- 観光地（千枚田や見附島など…）

「Fukuoka City Wi-Fi」とは

福岡市では、来街者の利便性向上、情報発信力の強化、災害時の活用を目的として、全111拠点（うちバス4台）で、公衆無線LANサービスが提供されている。

公衆無線LAN設置による利潤

	H24年	H25年	H26年	合計
便益				
無料Wi-Fi整備による福岡へ訪問する外国人の増加（H24に開始のため、H25年以降に効果が出るとした）	人数	-	585人	1999人
	金額	-	2807万円	9590万円
費用				
Wi-Fi整備・運用、広告・プロモーションに関する費用	3710万円	2600万円	2330万円	8640万円
便益-費用	-3710万円	+207万円	+7260万円	3757万円



公衆無線LAN設置による効果はすぐには表れないが4～5年にわたって表れ、地域の活性化につながっていくと予想される

■具体的内容

- WiFi環境を、JR七尾線やのと鉄道、バス停留所やバス車内など、公共交通機関に設置する。



- 移動中に、次の目的地や食事場所を検索できる
- 観光地での感動をインスタントにSNSに投稿できる

■効果

観光客の満足度をアップすることができ、もう一度来たいと思ってもらえることにつながったり、観光客にSNSで地域や商品を発信してもらうことで、地域の宣伝効果につながったりすると考えられる。

■参考文献

石川県の docomo wifi（ドコモの公衆wifiサービス）設置数
http://dwifi.mapion.co.jp/b/mzone/attr/?t=attr_con&kencode=17
 「地方公共団体の公衆無線LAN整備による経済波及効果」
http://www.soumu.go.jp/main_content/000354251.pdf